

## 平成三十年度に向けて

会長 久保田清

皆様のご協力をいただき平成29年度の行事も滞りなく終えることができました。厚く御礼申し上げます。

平成29年度の県外大会を振り返って見ますと、国体関東ブロック大会では少年男子が近的、遠的ともに一位と他を寄せ付けずの通過、成年男子も遠的六位と出遅れたが近的一位で総合二位通過。少年女子は近的二位も、遠的六位で総合四位、成年女子は遠的、近的とも八位で不通過となり、遠的が弱点であることが分かります。これは遠的射場改修工事による練習不足が原因と思われる。今年度は設備も整い十分な練習ができるので活躍を期待いたします。全日本選手権大会には関東ブロックを勝ち抜き米山良美、山村晋、県代表で小堀富男の三選手が出場、米山選手は予選通過するも惜しくも入賞を逃しました。女子は中井川美恵子選手が関東ブロック突破、県代表で柴原一利子選手が参加しました。関東教職員大会では、千葉一茂選手が優勝と健闘しました。関東選手権大会では、有段者の部において長谷川絵鈴選手が射技優秀賞と五位入賞、称号者の部で米山選手が五位入賞。国体では少年男子が遠的で五位入賞。全日本遠的選手権大会では初出場の山口純選手が見事最年少優勝に輝き、茨城の名を全国に知らしめる快挙でした。高体連の結果を見てみると、関東大会において、女子団体で清真学園が優勝、男子が三位、技能優秀者を清真学園宮川選手が獲得。全国高等学校弓道大会では清真学園が五位、国体に関しては前記してある遠的五位と清真学園が上位を占めました。また、東日本高等学校弓道大会三人制女子の部において境高校が三位入賞。中体連では関東中学生弓道大会に東海中学が団体女子二位、全国大会においては女子個人黒澤選手が六位入賞しました。これらの活躍は茨城県弓道連盟の底辺の広さを知らしめたものであり、会員各位の活躍の賜物と感謝している所です。

平成29年度推薦審議会において本県名誉会長柴田猛先生が九段に推挙されたのを筆頭に、七段に米山良美、中嶋鉄郎、森昭夫、林田國洋の各先生が昇段、六段には船越忠、和栗淳、坂本允、金子久美子、高橋啓市の各先生が昇段、教士には中井川美恵子、錬士には川上義高、古田土百合子、矢野大輔、西野文子、鈴木裕美、岩間捷雄の各先生方が昇格され、五段には10名の方が昇段されました。27名と近年になく大勢の昇段昇格者が生まれました。心よりお祝い申し上げますとともに更なるご精進とご活躍を祈念しております。

平成30年度には全日本勤労者大会、関東ブロック大会、関東臨時中央審査、関東北部地区指導者講習会、関東中学大会、全国JR弓道大会と県連主管行事が数多く開催され、会員各位の皆様には多大なご苦勞をお掛けします。31年度の本国体まで無事乗り切り、我が県連の底力を会員の協力により発信したいと思っております。ご協力をお願いいたします。

今年度も昨年以上の昇段昇格者が出ることを、また大会での益々のご活躍を祈念いたします。